

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【公開番号】特開2015-328(P2015-328A)

【公開日】平成27年1月5日(2015.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-001

【出願番号】特願2013-139242(P2013-139242)

【国際特許分類】

A 6 1 H 23/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 H 23/02 3 3 2

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月15日(2016.6.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

持ち手を持って操作する手指の位置に対応させたスイッチと、前記持ち手に対する持ち方を替えた時の手指の位置に対応させたスイッチと、の複数のスイッチが設けられている電気製品の持ち手。

【請求項 2】

前記スイッチが電源スイッチである、請求項 1 に記載の電気製品の持ち手。

【請求項 3】

前記スイッチが制御スイッチである、請求項 1 に記載の電気製品の持ち手。

【請求項 4】

前記スイッチが電源スイッチと制御スイッチとの組である、請求項 1 に記載の電気製品の持ち手。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

そこで当発明者は、電気製品の持ち手に付いてこの持ち手を持って操作する手指の位置に対応させたスイッチと、前記持ち手に対する持ち方を替えた時の手指の位置に対応させたスイッチと、の複数のスイッチが設けられていれば良いという着想を得た。持ち手を持ち替えると、持ち替えた状態で操作するのに都合の良い手指の位置に、持ち替える前の操作では都合が良かったスイッチとは別のスイッチを備えていることになる。従って何れの持ち方をしたとしてもスイッチの使用感は良好である。なお2種の持ち方に付いて持ち手の2箇所としたが、3種の持ち方に付いてならば持ち手の3箇所ということになる。しかしながら例外的に2種目3種目の持ち方に付いては、例えば左右の手で持ち替えを行う場合のように、1種目の持ち方のスイッチとは異なるものの、同じ1つのスイッチを共有することもあり得るため、このような構成もこの発明の権利範囲内のものであるとする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

この発明では、電気製品の持ち手に付いて、この持ち手を持って操作する手指の位置に対応させたスイッチと、前記持ち手に対する持ち方を替えた時の手指の位置に対応させたスイッチと、の複数のスイッチが設けられているものとした。持ち手を持ち替えた時に、その持ち替えた状態で操作するのに都合の良い手指の位置に、持ち替える前の操作では都合が良かったスイッチとは別のスイッチを備えていることになる。従って何れの持ち方をした場合であっても、スイッチの使用感は良好であるという効果を奏する。